

Ryukoku Public Lecture



7月1日
びわ湖の日



びわ湖の日 滋賀県提携 公開講座

「びわ湖の日（7月1日）」にちなみ、滋賀県と龍谷大学の提携による参加無料の公開講座を3回実施します（各回のみの参加可能）。

びわ湖の保全再生、持続可能な社会づくりに向けて、一人ひとりに新たな気づきを得ていただくことを目的に開催します。

日時・テーマ・講師

第1回 2025年10月4日（土） 11:00～12:00

「琵琶湖の植物プランクトンについて」

▶講師：池田 将平（琵琶湖環境科学研究センター）

第2回 2025年10月11日（土） 11:00～12:00

「びわ湖にそそぐ川の水温と生き物たち」

▶講師：末吉 正尚（国立環境研究所 琵琶湖分室）

※山中 裕樹 龍谷大学先端理工学部教授（龍谷大学生物多様性科学研究センター長）による「びわ湖100地点環境DNA調査」の結果紹介も予定しています。

第3回 2025年11月1日（土） 11:00～12:00

「びわ湖と共に！未来を紡ぐエコライフの挑戦」

▶講師：脇田 健一（龍谷大学社会学部 教授）

受講に関するご案内

開催場所 龍谷大学深草キャンパス ^{えこう} 慧光館1階102講義室（京都市伏見区深草塚本町67）
※対面とオンラインのハイブリッド開催

申込方法 下記のサイトより、各回ごとにお申し込みください。＜無料＞
<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/event/entry-16985.html>

定員 各回 70名（対面）+100名（オンライン）＜先着順＞

問合せ先 龍谷大学 龍谷エクステンションセンター（REC）滋賀
E-mail：rec-shiga@ad.ryukoku.ac.jp Tel：077-543-7743



主催：龍谷大学・滋賀県

各 回 概 要

第1回 2025年10月4日（土）11:00～12:00

「琵琶湖の植物プランクトンについて」

▶ 講師：池田 将平（琵琶湖環境科学研究センター）

植物プランクトンは湖沼生態系で生産者として重要な役割を果たす一方、その挙動は琵琶湖の水質を決定する重要な因子の一つであり、琵琶湖の水を利用する私たちの生活にも影響を与えることがあります。県では、琵琶湖で植物プランクトンの調査を長年実施しており、調査の中で確認された様々な植物プランクトンを紹介するとともに、調査結果の解析から分かってきたことについて説明します。



第2回 2025年10月11日（土）11:00～12:00

「びわ湖にそそぐ川の水温と生き物たち」

▶ 講師：末吉 正尚（国立環境研究所 琵琶湖分室）

琵琶湖には100以上の川が注いでいますが、夏の水温を測てみると20℃以下の川もあれば35℃を超える川もありました。この水温の違いは何によって決まっていて、水中の生き物にどれだけ影響しているのでしょうか？今回は琵琶湖流域や他の地域で調べた水温と水生生物（主に魚）に関する研究をご紹介します。



※山中 裕樹 龍谷大学先端理工学部教授（龍谷大学生物多様性科学研究センター長）による「びわ湖100地点環境DNA調査」の結果紹介も予定しています。

「びわ湖100地点環境DNA調査」は、龍谷大学が2021年度にスタートした、年に1度の市民参加型の全県一斉調査で、2024年度より包括連携協定に基づき滋賀県との共催事業として実施している調査です。今回は、2025年8月に実施した調査の結果報告を行います。（市民や企業等が参加し、びわ湖100地点の水を採取予定。その分析を9月から10月にかけて実施。）



第3回 2025年11月1日（土）11:00～12:00

「びわ湖と共に！未来を紡ぐエコライフの挑戦」

▶ 講師：脇田 健一（龍谷大学社会学部 教授）

多様な価値を持つ琵琶湖。その琵琶湖と私たちの暮らしとは密接不可分の関係にあります。しかし、時代の変化のなかで、琵琶湖と人との「つながり」は希薄化してきました。当日は、この希薄化の問題を検討し、琵琶湖の環境を意識したライフスタイルをどのように創造していくのか、参加者と一緒に考えていきます。



お申込みは下記のサイトから。
各回ごとにお申し込みください。＜無料＞

<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/event/entry-16985.html>

